

山形DCが開幕

山形日和。



山形県おもてなし係長 きてけろくん

2014年6月14日～9月13日

山の向こうの もうひとつの日本

ごあいさつ

山形県では10年振り6回目の開催となる山形デスティネーションキャンペーン(山形DC)が幕を開けました。

14日に県内外で開催されたオープニングセレモニーでは、多くの関係者の皆様にご参加いただき、山形DCの幕開けを飾ることができました。

山形DCに合わせ、新たなエクステリアデザインの山形新幹線「つばさ」が登場し、7月19日からは新幹線初となる、乗ること自体が目的となる列車「とれいゆ」が運行される予定となっており、「山形への旅」に新たな楽しみが加わり、山形の魅力が更に増すものとして、たいへん喜ばしく思っているところです。

本県には、「西の伊勢参り」に対し「東の奥参り」と並び称された出羽三山をはじめ、山寺立石寺など、先人たちが育んできた歴史や精神文化が今なお受け継がれています。また、全ての市町村に温泉がある「温泉王国」です。さらに、54もの酒蔵と13のワイナリーがあり、海、山、里の恵みがもたらす豊かな味をお楽しみいただけます。

山形DCを機に、こうした山形の宝物をより多くの皆さんにお楽しみいただきたいと思います。

県民みんなでおもてなしの心でお迎えいたしますので、ぜひ山形へお越しください。

平成26年6月28日

山形デスティネーションキャンペーン推進協議会 会長

山形県知事 吉村美栄子



山形DCは、県や市町村などがJRグループ6社と連携して開催している。推進組織は、山形デスティネーションキャンペーン推進協議会(会長・吉村美栄子県知事)・山形県全域を対象としたDCの開催は、2004年の「おいしい山形DC」以来、10年ぶり6回目となる。今回のDCの基本コンセプトは、「日豊かなおらずを企画して、美しい山形」を具現化できる滞在型の旅を提案することと位置付けている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

国宝を一斉公開

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

新幹線初のリゾート列車「とれいゆ つばさ」が7月19日(福島・新庄)間で運行を開始する。「とれいゆ つばさ」はお客数増を備えている。

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

新幹線初のリゾート列車「とれいゆ つばさ」が7月19日(福島・新庄)間で運行を開始する。「とれいゆ つばさ」はお客数増を備えている。

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

新幹線初のリゾート列車「とれいゆ つばさ」が7月19日(福島・新庄)間で運行を開始する。「とれいゆ つばさ」はお客数増を備えている。

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

新幹線初のリゾート列車「とれいゆ つばさ」が7月19日(福島・新庄)間で運行を開始する。「とれいゆ つばさ」はお客数増を備えている。

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

新幹線初のリゾート列車「とれいゆ つばさ」が7月19日(福島・新庄)間で運行を開始する。「とれいゆ つばさ」はお客数増を備えている。

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

新幹線初のリゾート列車「とれいゆ つばさ」が7月19日(福島・新庄)間で運行を開始する。「とれいゆ つばさ」はお客数増を備えている。

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

新幹線初のリゾート列車「とれいゆ つばさ」が7月19日(福島・新庄)間で運行を開始する。「とれいゆ つばさ」はお客数増を備えている。

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

新幹線初のリゾート列車「とれいゆ つばさ」が7月19日(福島・新庄)間で運行を開始する。「とれいゆ つばさ」はお客数増を備えている。

一斉公開されている六つと推定される土偶。高さ1メートル、羽黒山五重塔(鶴岡市)では、夜間にライトアップを実施中。その羽黒山にある蜂子神社(同)では、出羽三山の開社される蜂子皇女の御尊像の初一般公開が行われている。

県民挙げておもてなし

山形DCは、県や市町村などがJRグループ6社と連携して開催している。推進組織は、山形デスティネーションキャンペーン推進協議会(会長・吉村美栄子県知事)・山形県全域を対象としたDCの開催は、2004年の「おいしい山形DC」以来、10年ぶり6回目となる。今回のDCの基本コンセプトは、「日豊かなおらずを企画して、美しい山形」を具現化できる滞在型の旅を提案することと位置付けている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。

県内に六つある国宝の生産量日本一を誇るサクラボの収穫シーズンにスタートした大型観光キャンペーンとして集客の拡大が期待される。また、山形県は今年4月、おもてなしの心と郷土愛にあふれる県民の総参加、全産業の参加によって観光立県の実現を目指す「おもてなし山形県観光条例」を施行しており、DCを盛り上げようという地元の機運も高まっている。



蜂子神社

山形デスティネーションキャンペーン推進協議会

(事務局：山形県観光交流課)

〒990-8570山形県山形市松波二丁目8番1号

TEL 023(630)2911 FAX 023(630)2097

山形DC公式サイトhttp://dc.yamagatakanko.com/



縁結びのパワースポット、熊野大社

城下町に歴史ロマン ワイナリー、温泉も

置賜エリアは、直江兼続が築き、上杉鷹山が守った城下町・米沢を擁し、周囲には美しい田園、フドウ畑が広がっている。上杉神社は、米沢藩上杉家の家祖、上杉謙信を祀る神社。足を伸ばせば、杉木立に囲まれた深閑とした霧間気がただよう上杉家廟所の甲冑をはじめ貴重な歴史・民俗・考古資料がそろった宮坂考古館もある。上杉関係の文化施設の共通入館券「米沢観るパス」も発行されている。

南陽市にある熊野大社は、日本三熊野の一つで、拝殿は県内最古の茅葺屋根建築。最近では縁結びのパワースポットとして女性らに人気で、満月の夜には縁結びの新願祭「月結び」が行われている。

赤湯ワイナリー巡りも人気。赤湯温泉街にはワイナリーが4社あり、見学や試飲が楽しめる。赤湯駅・荒砥駅(30・5分を約1時間)で結ぶ山形鉄道フラワー長井線に乗りするローカル線の旅もお勧めだ。



上杉謙信を祀る上杉神社

置賜エリア

米沢市 川西町 長井市 小国町 南陽市 白鷹町 高畠町



生産量日本一、山形県のサクランボ

盆地に花開いた文化 旬の果実もたわわに



山寺(宝珠山立石寺)。夏季にはライトアップも

盆地に広がる村山エリア。おいしい果実やコメ、酒を育み、歴史に根差した文化が花開いている。6〜7月にはサクランボが旬を迎え、果樹園で収穫が楽しめる。「佐藤錦」の朝摘みが体験できるプランも。モモやフドウも8月ごろから旬を迎える。松尾芭蕉が「閑さや岩にしみ入る蝉の声」と詠んだこと知られる山寺(宝珠山立石寺)。ライトアップが7月26日〜8月24日にかけて行われ、山肌に幻想的な姿が浮かび上がる。蔵王ロープウェイでは、8月1〜31日に山頂への夜間運行を行うサマナイトクルージングを実施する。上山市では、ドイツの健康保養地に学んだ「クアオルト暮色ウォーキング」が、お勧め。温泉地から歩いて周囲の自然を散策できる。天童市の建敷神社は、天章織田藩の縁で織田信長を祀る。DC期間中には、絵馬を奉納した人々に、信長が日本で初めて食べたと言われる金平糖を御禮符としてプレゼントする。

村山エリア

山形市 山辺町 寒河江市 中山町 河北町 上山市 西川町 村山市 朝日町 天童市 東根市 尾花沢市 大石田町



改装オープンした加茂水族館(クラゲドリーム館)。人気の大型クラゲ水槽



国宝の羽黒山五重塔。DC期間中は夜間にライトアップされる

海・山・里の恵み集う 話題の水族館が新装

庄内平野、日本海、信仰の山々。庄内エリアには、海・山・里の恵みが集まる。クラゲの展示種類数が世界一の鶴岡市立加茂水族館(愛称「クラゲドリーム館」)が、1日にリニューアルオープンした。クラゲの展示種類は約50種で、大型水槽などを備えている。クラゲのほかにも、海水・淡水魚、アザラシなどが見られる。ウミネコの餌付け体験やアシカショーなども行われている。

「西の伊勢参り」に対し「東の奥参り」と呼ばれてきた出羽三山(羽黒山・月山・湯殿山)への参拝。国宝の羽黒山五重塔では、9月13日までライトアップが行われ、夜間に荘厳な姿を浮かび上がらせている。ほかにも、明治26年建造の米穀倉庫がケヤキ並木沿いに立ち並ぶ湊町・酒田の山居倉庫、高山植物が美しい鳥海山のトレッキング、地場食材を使った料理を堪能できる庄内町新産業創造館クラッセなど、観光スポットや体験メニューが満載だ。

庄内エリア

鶴岡市 庄内町 遊佐町 三川町



散策が楽しい金山町の美しい街並み

悠々と流れる最上川 自然、暮らし息づく

最上エリアには、悠々と流れる水の古道。最上川、深い雪が育んだ自然と文化が受け継がれている。最上川の流域面積は県全体の約75%に及ぶ。交通路として、農業用水として恵みをもたらしてきた。船頭の民謡を聞きながら船上からのんびりと景色を眺める。最上川舟下りが楽しめる。最上川舟下りに乗る。英国の旅行家、イザベラ・バードが称賛した美しい街並みが残る金山町。切妻屋根に白壁、杉の下見板が特徴的な金山住宅、戦国時代末期に開削された大堰などを巡る散策が人気だ。巨木や幻想的な森も広がっている。独特の形から「トトロの木」と呼ばれる鮮川村の小杉の大杉、樹齢千年超の巨大な杉もある。戸沢村の土湯村群生地「幻想の森」、幹線日本一の大アカマツと大カツラがある最上町の森などが知られている。

食の魅力としては、甚五右衛門芋、最上赤ニンニクなど最上伝承野菜が堪能できる。



最上川舟下り。船頭の民謡も楽しみ

最上エリア

新庄市 金山町 最上町 舟形町 真室川町 大蔵村 鮭川村 戸沢村